

# 太陽光発電所ネットワーク山梨地域交流会ニュース・No 4

2006年12月23日

## 1. 山梨県清里の八ヶ岳奥民館の5. 23kW太陽光発電設備が完成しました。



グリーン電力基金の助成金を頂いて、設置が決まった5kWの太陽光発電設備が完成しました。地域協同プロジェクトとして設置費用の85%の助成金が支給されます。

総設置費用は約288万円です。その内約245万円がグリーン電力基金からの助成金です。残りの金額のうち、22万円は地域の公民館が負担します。そして最後の残りの金額を山梨地域交流会で負担します。山梨地域交流会の予算は10万円+会員数×1000円+世話人交通費・事業収入です。若干不足していますが、残りをPV-Greenの基金から支出されるか現在検討されています。



八ヶ岳奥民館に設置された太陽光発電設備は公民館に帰属します。発電した電力は施設で利用され、余剰分は東京電力に売電されます。ただし、環境価値であるグリーン電力は、PV-netで販売して会の収入になります。この電力計は発電電力量を計測するための、計量法に対応したメータです。

この施設で発生したグリーン電力は、その販売収入が全額、会の基金に積み立てられ、新たな発電設備の建設に利用される予定です。また、東電売電分も証書化出来るか東電と協議中です。

## 2. 甲府市主催の環境リサイクルフェアでPV-Green証書が利用されました。



平成18年11月19日(日)甲府市環境センターで開催されました。その実行委員会により500kWhのPV-Green証書が購入され利用されました。環境センターの建物や倉庫そしてグラウンド等に会場が分散して、フリーマーケットや催しが行なわれ少なくとも100kWh以上の電力が消費されている様子でした。またオープニングセレモニーでは甲府市長(代読)の御挨拶がありました。その中で今回のイベントにグリーン電力証書が使われていると、紹介されました。また、太陽光発電普及に関する実行委員会委員長の御挨拶もありました。

## 3. クリーンエネルギーやまなしシンポジウム 2007～風林火山という新エネルギー～

2007年1月20日(土)午後1時30分～4時30分に甲府市総合市民会館 芸術ホールで開催。主催は、NPOフィールド'21(山梨県地球温暖化防止活動推進センター)です。

☆基調講演「地球温暖化問題をめぐる最近の内外の動き」やパネルディスカッション「風林火山という新エネルギー」などの内容です。みなさまふるってご参加下さい。